



令和元年10月18日
中部地方整備局

令和元年度 中部地方整備局入札監視委員会 第二部会第2回定例会議を開催しました

— 審議概要を公表します —

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識経験者等で構成する第三者機関であり、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、意見の具申又は勧告を行います。

第二部会第2回定例会議では、発注工事等の中から抽出した4件の事案に係る一般競争の参加資格の設定等について審議を行いました。

以下、審議概要についてお知らせします。

1. 日時及び場所

日 時：令和元年10月7日（月）10時00分～12時00分

場 所：中部地方整備局（丸の内庁舎） 会議室

2. 審議概要

別紙のとおり

3. 配 布

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、
港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、
マリタイムデーリーニュース

4. 問い合わせ先

中部地方整備局総務部

契約管理官 小島 沙織

電話 052-209-6316(ダイヤルイン)

FAX 052-203-9738

別紙1

令和元年度 中部地方整備局 入札監視委員会第二部会

第2回定例会議 審議概要

開催日及び場所	令和元年10月7日(月) 中部地方整備局(丸の内庁舎)		
委員	[部会長] 林 秀弥 (大学院教授) 中村 友昭 (大学院准教授) 加島 光 (弁護士)		
審議対象期間	平成31年4月1日～令和元年6月30日		
抽出案件数	総件数 4 件	審議案件は別紙1-2のとおり	
入札・契約方式	件数	工事名等	
工 事	一般競争入札 (政府調達適用)	0 件	別紙1-2のとおり
	一般競争入札 (政府調達適用外)	2 件	
	工事希望型競争入札	0 件	
	通常指名競争入札	0 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサルタント業務等 一般競争入札	1 件		
建設コンサルタント業務等 簡易公募型プロポーザル	1 件		
役務の提供等及び物品の製造等 一般競争入札	0 件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙1-3のとおり	別紙1-3のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	意見の具申又は勧告は、なし。		

別紙 1 - 2 抽出案件一覧表

【工事】

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)

平成31年4月1日～令和元年6月30日

工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成31年度 四日市港霞ヶ浦南ふ頭地区岸壁(W24) 改良工事	港湾土木工事	2	2	6月3日	高砂建設(株)	240,840	90.2	
平成31年度 名古屋港第3ポートアイランド築堤保 護対策工事	港湾土木工事	1	1	6月14日	宇佐美工業(株)	147,400	98.1	

【建設コンサルタント業務等】

(一般競争入札方式)

平成31年4月1日～令和元年6月30日

業 務 名	業種区分	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成31年度 水中部施工状況確認業務	建設コンサルタント等	1	1	4月10日	(一社)日本潜水協会	13,176	99.1	

(簡易公募型プロポーザル方式)

平成31年4月1日～令和元年6月30日

業 務 名	業種区分	手続への参加資 格及び業務実施 上の条件を満た す参加表明書の 提出者数	技術提案書 の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
平成31年度 設計技術検討業務	建設コンサルタント等	1	1	6月20日	(一財)沿岸技術研究センター	22,330	99.6	

別紙1-3 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1.報告事項についての審議概要		
令和元年度 中部地方整備局 入札監視委員会第二部会		
項目	意見・質問	回答
①工事の入札方式別発注一覧 ②建設コンサルタント業務等の入札方式別発注一覧 ③役務の提供等及び物品製造等の入札方式別発注一覧 ④指名停止措置の運用状況 ⑤談合情報等 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 ⑧一者応札の発生状況 ⑨不調・不落の発生状況 ⑩高落札率の発生状況	なし	

2. 抽出案件の審議概要		
会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び地域性、事業種別毎を考慮したうえで無作為抽出したものである。		
抽出案件	意見・質問	回答
1. 一般競争入札(政府調達適用外)		
平成31年度 四日市港霞ヶ浦南ふ頭地区岸壁(W24)改良工事	本案件は競争が成立したが、一方で、分任官のW26改良工事は不調との報告があった。差をどのように考えるか。	資料をダウンロードした者へヒアリングを実施したところ、他の工事との兼ね合いで技術者の配置が難しいとの回答があった。本件も競争参加者は2者と少なく、改良工事は競争参加者が少ない傾向にある。
	競争参加者を増加させるための抜本的な対応策をどのように考えているのか。	競争参加者に求める要件を可能な限り緩和している。また、建設業法の改正を踏まえ、技術者の専任制緩和などに取組んでいく。
	本件は適正に処理された。	

2. 一般競争入札(政府調達適用外)		
平成31年度 名古屋港 第3ポートアイランド築堤 保護対策工事	競争参加資格確認を申し出た2者のうち、1者が参加資格を認められなかった。理由は。	当該者は、求める技術提案とは明らかに異なる提案を行ったため、競争参加資格を認めなかった。
	本件は2回目入札を行っているが、2回目入札の際の下げ幅として、事後的な分析はどうか。	過去3年間の実績を確認したところ、同様のケースが3件あった。いずれも下げ幅は5%~6%であったため、本件も想定範囲と考える。
	本件は適正に処理された。	
3. 一般競争入札(建設コンサルタント業務等)		
平成31年度 水中部施工 状況確認業務	当該案件は毎年行っている業務と思うが、過去の状況は如何。1者応札が続いている場合は、その対応を聞きたい。	過去から1者応札が続いている。そのため、参加者へ求める業務実績の緩和、公告期間の拡大を行ってきたところである。
	要件の緩和等を行っても1者応札が続くことについて、どのような分析を行っているか。	入札資料をダウンロードしたが競争に参加しなかった者へヒアリングを実施したところ、必要資機材を確保する時間が足りないとの回答があったため、今後発注の際に検討する。
	本件は適正に処理された。	
4. 簡易公募型プロポーザル(建設コンサルタント業務等)		
平成31年度 設計技術 検討業務	1者応札について、業務内容が昨年度と継続していることが関係しているのか。	前年度に受注した業者が有利とならないよう、競争手続期間中に、昨年度の報告書を閲覧できる期間を1ヶ月程度設定し、公平な競争性を確保した。
	簡易公募型プロポーザル方式で、説明書に記載のある「満点の6割未満の場合は特定しない」ことについて、説明してほしい。	・「実施方針・実施フロー・工程表・その他」のうち、「業務理解度」「実施手順」 ・「特定テーマに対する技術提案」 の評価点の合計が満点の6割未満の場合は特定しないこととしている。本件では、配点220点に対し、特定者の評価点は6割以上であった。
	本件は適正に処理された。	
5. その他		
	なし	